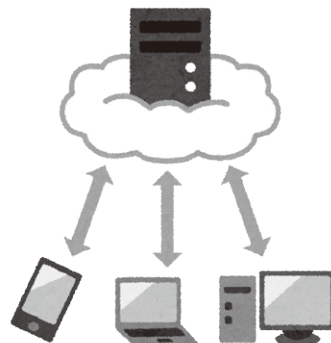


防止等です。扱う情報は、行政事務だけでなく、住民の個人情報に至るまで膨大で多岐に渡ります。よってこのような対策が非常に重要です。クラウド化もそれらの対応の一つと言えると思います。

どこの自治体においても、ある程度の予算を投じ独自の政策に合わせたシステム改修を行っていると思われます。サーバーやソフトを複数の自治体でクラウド化することは、システム改修コストの削減やより強固なセキュリティ対策が講じられるなどのメリットが挙げられます。一方で、複数の自治体がクラウド化するには、ソフトに合わせて各自治体の事務を標準化しなければならず独自の政策が

失なわれる可能性は否定できません。よって、当市の独自性を活かした市民サービスを継続し提供することができる、当市単独のクラウド化も有効であると思います。同時に情報システムの更新や改修の時期に合わせて、他市と情報やノウハウの共有を図り、標準化できる部分のクラウド化を検討していくことも長い目で見れば必要なことではないかと思いました。



クラウド化のイメージ

## 文教厚生常任委員会

### 市内保育園の運営状況について

10月31日 はっぴー保育園白岡駅東口園・はっぴー白岡園

株式会社オンリーワンが運営している、小規模保育事業所「はっぴー保育園白岡駅東口園」と保育所「はっぴー白岡園」の両施設を視察いたしました。当該保育園では、ハッピーにつながる3つのS、Smile（ほほえみ）、Steps（あゆみ）、Sprout（めばえ）が保育理念に掲げられています。保育園（保育所）は就労、妊娠・出産、病気など保護者が家庭において、十分に保育をすることができない就学前の子どもを保護者に代わって保育することを目的としています。「親の帰りを待っている」だけの場ではなく、様々な人と関わり合い、心身ともに大きく成長する時期の子どもにとって大変重要な場です。

はっぴー保育園白岡駅東口園では、0歳から2歳までの園児がワンフロアで保育を受けており、設備や保育士の人員などは適正だと感じました。また、少人数ならではの家庭的な雰囲気が印象的でした。保育所のはっぴー保育園では、0歳から就学前の87名の園児が保育を受けていました。年齢別に効率的な保育

が提供できるよう、設備に工夫が見られました。また、両園とも簡易ベッド「コット」や有料ですが使用済み紙おむつの処理を園で行うなど、他保育所でも取り入れるべき保護者負担軽減に取り組まれていました。課題としては、園児が安全に散歩できる道路環境の整備、保育士の労働環境の整備があげられます。特に労働環境の整備は、当該保育園だけではなく、保育施設全体の課題であり、保育の質を保つためにも、非常に重要な整備であると思いました。

